

工業用水道事業

平成29(2017)年度決算概算と経営戦略収支計画比較

会計名: 工業用水道事業

(単位: 百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

		a)計画額	予算額	b)決算概算額	b-a	備考	
収益的 収 支	収 入	料金収入	507	487	516	9	・料金収入は、前年度より減少(▲15)したが、計画額は達成 ・その他収入は、主に長期前受金戻入が計画額より増 ・減価償却費は、固定資産が計画値より減少したことに伴い、計画額より減 ・その他支出は、主に資産減耗費が計画額より増
		その他収入	121	474	469	348	
		(計)	628	961	985	357	
	支 出	人件費	53	58	54	1	
		減価償却費	201	190	181	▲20	
		修繕費	26	49	49	23	
		その他支出	235	632	594	359	
	(計)	515	929	878	363		
	経 常 損 益		113	32	107	▲6	
	資本的 収 支	収 入	借入金	0	0	0	
その他収入			17	14	15	▲2	
(計)			17	14	15	▲2	
支 出		建設改良費	362	362	325	▲37	
		借入金償還金	72	93	92	20	
		その他支出	4	4	0	▲4	
		(計)	438	459	417	▲21	
差 引		▲421	▲445	▲402	19		

工業用水道事業 経営戦略達成状況

1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 (欠損金) 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)				(単位: 百万円)		
A: 計画値	/	101.4	121.9	/	/	2,415	203
B: 予算値	▲ 7.9	53.1	103.6	85.8	534.3	2,395	122
C: 決算概算値	▲ 6.4	59.3	112.2	86.0	939.4	2,396	248
達成率(%)	119.0	58.5	92.0	100.2	175.8	100.8	122.2
達成度評価	A	C	B	A	A	A	A
目標達成又は未達成の要因等	<p>・収入のうち料金収入は、基本供給水量の減量を最大5%認めたことに伴い前年度より減少したが、計画額を上回った。また、長期前受金戻入(営業外収益)が計画額より増加したため、収入全体で計画額を上回った。</p> <p>・支出は、主に資産減耗費が計画額より増加したため、支出全体で計画額を上回り、経常損益の利益は、計画額を下回った。</p> <p>・営業収支比率及び経常収支比率は、営業費用(資産減耗費等)が計画額より増加したため、計画値を下回った。</p>						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

2 事業面に係る評価

(1) 計画業務量に係る達成状況

	年間基本供給水量 (単位: 千m ³)	年間実供給水量 (単位: 千m ³)	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	9,200	5,700	<p>・年間基本供給水量は、最大5%の減量を認めたため計画値より減少したが、年間実供給水量は、ほぼ計画値どおりの供給量を確保した。</p>
予算値	8,828	5,675	
B: 決算概算値	9,013	5,680	
達成率(%)	98.0	99.6	
達成度評価	B	B	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 工業用水道事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	平成29(2017)年度の取組実績
工業用水の安定供給	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	▶取水場受変電設備等更新工事(H26年度～H29年度、鬼怒) ▶設備更新等長期計画策定検討会(H29年度～H30年度)
	○水質検査結果等の情報発信	▶水質検査結果公表(毎月HP掲示)
	○施設防護対策等の充実	▶浄水場等機械警備業務委託(H29年度～H33年度、鬼怒) ▶浄水場監視カメラ設置工事(鬼怒)
新規需要の開拓	○工業用水ニーズの情報収集	▶需要拡大検討班会議を開催(7、12、3月) ▶受水企業訪問(2～3月) ▶関係機関との情報交換
	○新たな受水企業の誘致活動	▶キリンビール工場跡地PR(164社) ▶新規企業への営業活動(清原工業団地) ▶新規産業団地への給水可能量の検討
災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	▶設備更新等長期計画策定検討会(H29年度～H30年度)
	○耐震化への取組	▶No1配水池導流壁修繕工事 ▶高根沢花岡ルート送水管路劣化調査業務委託 ▶可とう管修繕工事(工水2箇所)
	○災害想定訓練の実施	▶防災訓練を実施(8、12月) ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施(12月)
	○応急復旧体制の強化	▶貯蔵品購入計画等検討会
	○災害対応強化	▶取水場予備水源調査業務委託(鬼怒)
経基盤の強化	○適正な料金設定	▶鬼怒工業用水道用事業に係る料金を見直した結果、現行料金制度を維持した上で、受水企業の定着を図るため、一部、基本供給水量の減量を実施 (料金適用期間:H29年4月～H34年3月)
人育	材成 ○技術継承、研修の充実、資格取得支援	▶日本工業用水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加(2回、4名) ▶酸素欠乏危険作業主任者等の資格取得を支援
環境対策	○高効率・省エネルギー機器の導入	▶取水場受変電設備等更新工事(H26年度～H29年度)
	○浄土発生土の資源化利用	▶浄水発生土の有効利用(上・工水合計:1,058t)

備 考	平成30(2018)年度の取組予定
	<ul style="list-style-type: none"> ▶設備更新等長期計画策定検討会(H29年度～H30年度) ▶中央監視制御装置更新工事(H30年度～32年度、鬼怒)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査結果公表
<ul style="list-style-type: none"> ・浄水場、取水場の更なる警備体制強化のため、機械警備の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ▶浄水場等機械警備業務委託(H29年度～H33年度、鬼怒) ▶管路施設GIS構築業務委託(北那須、鬼怒)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶需要拡大検討班会議を開催 ▶受水企業訪問 ▶関係機関との情報交換
<ul style="list-style-type: none"> ・地域整備課の営業活動時にパンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> ▶キリンビール工場跡地PR ▶新規企業への営業活動 ▶新規産業団地への給水拡大のため配水管設計業務費計上(基本設計業務及び詳細設計等業務)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶設備更新等長期計画策定検討会(H29年度～H30年度)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶可とう管修繕工事(工水1箇所)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶防災訓練を実施 ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施
	-
<ul style="list-style-type: none"> ・湧水や水質事故等の不測の事態へのリスク軽減対策 	-
<ul style="list-style-type: none"> ・固定的経費を回収する基本料金(基本供給水量)と変動的経費(使用水量)を回収する使用料金で構成される二部料金制度 ・基本料金単価:49.39円/m³、使用料金単価:8.96円/m³ (単一料金換算55.15円/m³) 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ▶日本工業用水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加 ▶資格取得の支援
<ul style="list-style-type: none"> ・高効率変圧器、取水ポンプ用インバータ装置の導入 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ▶浄水発生土の有効利用

自己評価等						達成度 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・受水企業の定着を図るため、基本供給水量の最大5%の減量を認めたことにより、年間基本供給水量は計画値を若干下回ったものの、年間実供給水量はほぼ計画値どおりであり、料金収入もほぼ計画額どおりであった。 ・営業費用の増額により、経常損益の利益が計画額を下回り、営業収支比率及び経常収支比率が計画値を下回った。 ・設備更新等計画に基づく更新工事は、実施計画どおり進捗した。 ・新規需要拡大のため、新産業団地への給水可能性について検討を行った。 ・浄水場の機械警備業務委託を開始し、かつ監視カメラを増設した。これにより安心・安全な工業用水を安定供給する体制が強化された。 						
評価委員会の評価等						達成度 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・年間基本供給水量は計画値を下回ったが年間実供給水量はほぼ計画値どおりであり、また、経常損益は計画値を下回ったものの利益を確保している。 ・設備更新等計画に基づく取水場受変電設備等更新工事などの安定供給への取組は、順調に進んでいる。 ・浄水場の機械警備業務委託を開始するとともに、監視カメラの増設を行うなど、工業用水の安全・安心の確保に努めている。 						
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)	
自己評価	A	B				
評価委員会の評価	A	B				

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等	
<ul style="list-style-type: none"> ・工業用水の安定供給を図るため、引き続き、計画的な設備更新工事等の実施や水質事故等の対応強化に取り組む。 ・企業の節水努力等により、供給水量は伸び悩みの状況にあるため、新規需要の開拓に取り組む。 ・健全な事業運営を持続するため、適正な料金設定等による経営基盤の強化や研修等による人材育成・技術継承に引き続き取り組む。 	

○ 経営指標に係る達成状況(工業用水道事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		▲ 1.7	▲ 7.9			
	決 算 値	2.2	0.4	▲ 6.4			
	達成度評価		A	A			
営業収支 比率	計 画 値		84.7	101.4	99.2	98.3	96.4
	予 算 値		84.7	53.1			
	決 算 値	125.2	103.9	59.3			
	達成度評価		A	C			
経常収支 比率	計 画 値		114.7	121.9	119.4	118.5	116.3
	予 算 値		114.7	103.6			
	決 算 値	134.3	127.2	112.2			
	達成度評価		A	B			
自己資本 構成比率	予 算 値		85.7	85.8			
	決 算 値	85.4	85.9	86.0			
	達成度評価		A	A			
流動比率	予 算 値		832.2	534.3			
	決 算 値	1,047.4	1,288.6	939.4			
	達成度評価		A	A			

借入金 残高	計 画 額		2,487	2,415	2,346	2,284	2,225
	予 算 額		2,487	2,395			
	決 算 額	2,562	2,489	2,396			
	達成度評価		B	A			
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		90	203	305	403	491
	予 算 額		90	122			
	決 算 額		141	248			
	達成度評価		A	A			

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:千m³)

年間基本 供給水量	計 画 値		9,200	9,200	9,200	9,200	9,200
	予 算 値		9,241	8,828			
	実 績 値	9,171	9,243	9,013			
	達成度評価		A	B			
年間実 供給水量	計 画 値		5,700	5,700	5,700	5,700	5,700
	予 算 値		5,674	5,675			
	実 績 値	5,766	5,689	5,680			
	達成度評価		B	B			

○ 収支の状況(工業用水道事業)

(単位:百万円)

				平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		507	507	507	508	507
			予 算 額	500	507	487	499		
			決 算 額	534	531	516			
		その他 収入	計 画 額		199	121	121	121	121
			予 算 額	128	199	474	121		
			決 算 額	120	127	469			
	支出	人件費	計 画 額		53	53	53	53	53
			予 算 額	60	53	58	53		
			決 算 額	51	73	54			
		減価 償却費	計 画 額		181	201	218	222	246
			予 算 額	179	181	190	220		
			決 算 額	178	177	181			
		修繕費	計 画 額		57	26	26	26	26
			予 算 額	57	57	49	49		
			決 算 額	57	57	49			
		その他 支出	計 画 額		325	235	229	230	215
			予 算 額	291	325	632	233		
			決 算 額	201	210	594			
経常損益			計 画 額	90	113	102	98	88	
			予 算 額	41	90	32	65	0	
			決 算 額	167	141	107		0	
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0		
			決 算 額	0	0	0			
		その他 収入	計 画 額		20	17	12	10	39
			予 算 額	25	20	14	12		
			決 算 額	25	19	15			
	支出	建設 改良費	計 画 額		220	362	289	198	89
			予 算 額	261	220	362	259		
			決 算 額	267	109	325			
		借入 償還金	計 画 額		74	72	69	62	59
			予 算 額	84	74	93	90		
			決 算 額	83	73	92			
		その他 支出	計 画 額		4	4	4	4	4
			予 算 額	4	4	4	4		
			決 算 額	0	0	0			
差引			計 画 額		▲ 278	▲ 421	▲ 350	▲ 254	▲ 113
			予 算 額	▲ 324	▲ 278	▲ 445	▲ 341		
			決 算 額	▲ 325	▲ 163	▲ 402			